

# 令和3年度 嘉麻市立碓井小学校 学力向上プラン

## ■視点1-②

《中期目標》主体的に課題を追究し、自分の考えを豊かに表現する児童の育成  
 〈成果指標〉令和5年度の全国調査の標準化得点：国語100以上 算数100以上

《短期目標》自分の考えをもち、その考えを表現できる児童の育成  
 〈成果指標〉令和4年度の全国調査の標準化得点：国語99 算数99 以上、標準学力調査：標準偏差値50  
 (令和4年度福岡県学力調査【中1】において、県標準化得点 国語97 数学97 以上)

## ■視点5

### 【家庭・関係機関との連携】

#### 〈取組（指標）〉

- ⑤家庭学習（10×学年＋10）分以上（毎日実施）
- ⑤家庭学習系統表に基づいた家庭学習（毎日実施）

#### 〈成果（指標）〉

- ◆児童アンケート「家庭学習の目標時間達成率」（100%）

## ■視点2

### 【授業づくり】

〔基礎基本の確実な習得・授業改善〕

#### 〈取組（指標）〉

- ③「問いづくり・思考づくり・価値づくり」のある授業の展開。（毎時間実施）

#### 〈成果（指標）〉

- ◆児童による授業評価（「解いてみたい」「授業が分かる」「交流することで自分の考えが深まった」3.5以上：4段階評定尺度）
- ◆授業チェックリスト「児童自身に学びの変容を自覚させるための工夫がなされている」（評定3.5以上：4段階評定尺度）

〔自分の考えを表現する力の育成〕

#### 〈取組（指標）〉

- ④国語・社会・算数・理科において自分の考えを根拠を明確にしていったり、表現し合ったりする活動の設定。（毎時間実施）

#### 〈成果（指標）〉

- ◆児童による授業評価（「自分の考えをかく」「自分の考えを発表（説明）している」3.5以上：4段階評定尺度）

## ■視点4

### 【教員の意識・指導力の向上】

#### 〈取組（指標）〉

- ③研究テーマに基づく全学級授業公開（一人年間2回以上）
- ④学力テストなどの分析をもとにした授業改善の研修（年3回）
- ⑥小中合同研修会の実施（年3回）

#### 〈成果（指標）〉

- ◆教員アンケート（「授業改善の視点を、日々の授業づくりに生かしているか」3.5以上：4段階評定尺度）

## ■視点3

### 【学力基盤づくり】

#### 〈取組（指標）〉

- ①習熟度別分割授業（3年生以上算数 プレテスト⇒習熟度別分割授業⇒テスト）
- ①専科教員による補充学習（月～金曜日給食準備時間 C層・D層対象）
- ②「鍛ほめ福岡メソッド」における称賛活動を設定する。（毎月1回）

#### 〈成果（指標）〉

- ◆算数単元末テスト（期待値通過率85%以上）
- ◆「目標を達成できるように粘り強く取り組んだことがある」（「当てはまる」：50%以上）

## ■視点1-①

### 全国学力・学習状況調査、県学力調査及び児童生徒による授業評価等から見た「課題」

教科	国語		算数	
	R1	R2	R1	R2
全国調査・ 県学力調査 標準化得点	95 (全)	85 (県)	95 (全)	89 (県)

- ・目的や意図に応じ、自分の考えを明確にして書くこと
- ・論理的に考察し、数学的に表現すること
- ・学力低位層（C層・D層）の割合が高い

#### 質問紙調査等

- ・児童「『解いてみたい・考えたい』という気持ちになる」（評定3.3：4段階評定尺度）
- ・児童「自分の考えをもち、友達と考えを伝え合っている」（評定3.4：4段階評定尺度）
- ・児童「友達の考えを聞いて、自分の考えがよりよいものになる」（評定3.4：4段階評定尺度）
- ・児童「目標を達成できるように粘り強く取り組んだことがある」（「当てはまる」35.4%）
- ・教員「児童自身に学びの変容を自覚させるための工夫がなされている」（評定2.7：4段階評定尺度）

### 授業づくりや学力向上の取組に係る「要因」

- ①基礎・基本が定着していない児童に対する補足的な学習が不十分
- ②主体的な目標設定、評価の場が不十分
- ③研究の日常化
- ④授業の中で根拠をもとに自分の考えを説明したり、条件をつけて考えを書いたりする学習活動が不十分
- ⑤家庭学習が習慣化していない児童
- ⑥中学校区における研究が不十分